

こだま

VOL. 85

2022. 12. 22

あいさつ・いじめ防止「標語コンクール」表彰式

最優秀賞・優秀賞を受賞された児童の皆さん

●あいさつ部門^{ぶもん}

【低学年の部】

最優秀賞	3年1組	肥田	ももさん	「あいさつで みんなつながる え顔のわ」
優秀賞	1年1組	中村	尊さん	「あいさつは ころろつなげる あいことば」
優秀賞	2年1組	斉藤	百合菜さん	「あいさつは おおきなこえで げんきよく」

【高学年の部】

最優秀賞	4年2組	伊勢	衛さん	「いってらっしゃい 元気な声で いきます」
優秀賞	5年1組	山口	結愛さん	「おはようと 笑顔であいさつ 朝の顔」
優秀賞	6年2組	奥山	陽向さん	「おはようは ともだちつくる タネなんだ」

●いじめ防止部門^{ぼうしぶもん}

【低学年の部】

最優秀賞	1年1組	高橋	こと乃さん	「いじめはね ころろをいたく するんだよ」
優秀賞	2年1組	沼田	心想さん	「いじめはね 人のころろを きずつける」
優秀賞	2年1組	廣瀬	鈴さん	「いじめはね 人のころろを きずつける」
優秀賞	3年1組	水島	葵さん	「いじめはね 人々のころろを うばうんだ」

【高学年の部】

最優秀賞	6年1組	松橋	心美さん	「がまんより 声を出そうよ 助けてと」
優秀賞	4年2組	前田	結翔さん	「えがおでも ころろの中は かなしいよ」
優秀賞	5年2組	清水	愛莉さん	「いじめはね みんなのころろ きずつける」





体育館に集まった5、6年生と受賞児童
1～4年生はリモートで参加



PTA 会長より賞状を受け取る児童の様子



あいさつ部門

最優秀賞・優秀賞を受賞した児童の皆さん

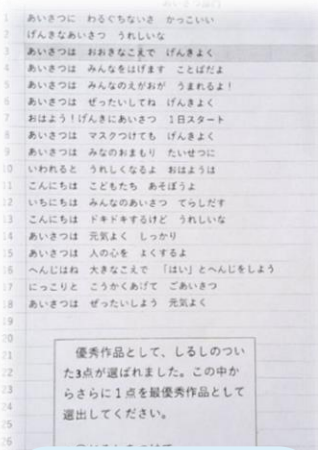


いじめ部門

12月12日(月)あいさつ・いじめ防止「標語コンクール」の表彰式が行われました。表彰式は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、5、6年生と表彰を受ける児童の皆さんが体育館に集まり1～4年生は教室でリモートでの参加となりました。

表彰式は全校朝会「感謝の集い」の後半で行われ(前半は、家庭・地域ボランティアの皆様への感謝状の贈呈がありました)最優秀賞・優秀賞を受賞した児童の皆さんが国重 PTA 会長より賞状を受け取りました。

標語の応募は115名の参加がありました。1次審査・2次審査共に公正を期すために誰の作品かわからないように記名の無い状態で、左の画像の様に書類上にて、PTA 標語コンクール担当の方々に選考していただきました。最優秀賞・優秀賞を受賞された児童の皆さんの入賞作品は前ページをご覧ください。なお、最優秀賞作品については3学期(予定は2月頃)に児童玄関や1F～3Fの北側廊下に展示がされますので、来校の際にみる事が出来るようです。



2次審査の様子

全校朝会「感謝の集い」は児童会が中心になって行われている行事です。

後半に行われた表彰式の後、児童会の役員の皆さんの挨拶では「ピンクシャツデー」の取り組みの説明がありました。「ピンクシャツデー」とは、ピンクのシャツを着たり、ピンク色のものを身につけることで「いじめ反対」の意思をあらわす日として、森の里小学校では児童会を中心に活動をしています。児童会では「毎日がピンクシャツデーだと考えている」ので「年3回の啓発活動をしている。次は来年2月の予定。」とのお話でした。

校長先生からは「二学期も残すところ後10日あまり。2学期の最初にお話した[マイナス言葉を使わない]ようにしながら、感謝の気持ちを忘れず元気に過ごしましょう。」というお話がありました。体育館に集まった5、6年生と表彰を受けた児童の皆さんが真剣にお話をきいている姿が印象的でした。

※ピンクシャツデーとは…カナダの中学3年の男子が、ピンク色のポロシャツを着て登校したことを発端に、性的なからかいや暴行などのいじめにあいました。それを知った友人の高校3年生の男子2人が「いじめはもうたくさんだ!(嫌だ)みんなでピンクのシャツを着よう!」と呼びかけ、ピンクのシャツを50枚購入して配布するのが始まりと言われています。現在は約180の国や地域に広がり世界的キャンペーンの一つとなっているそうです。